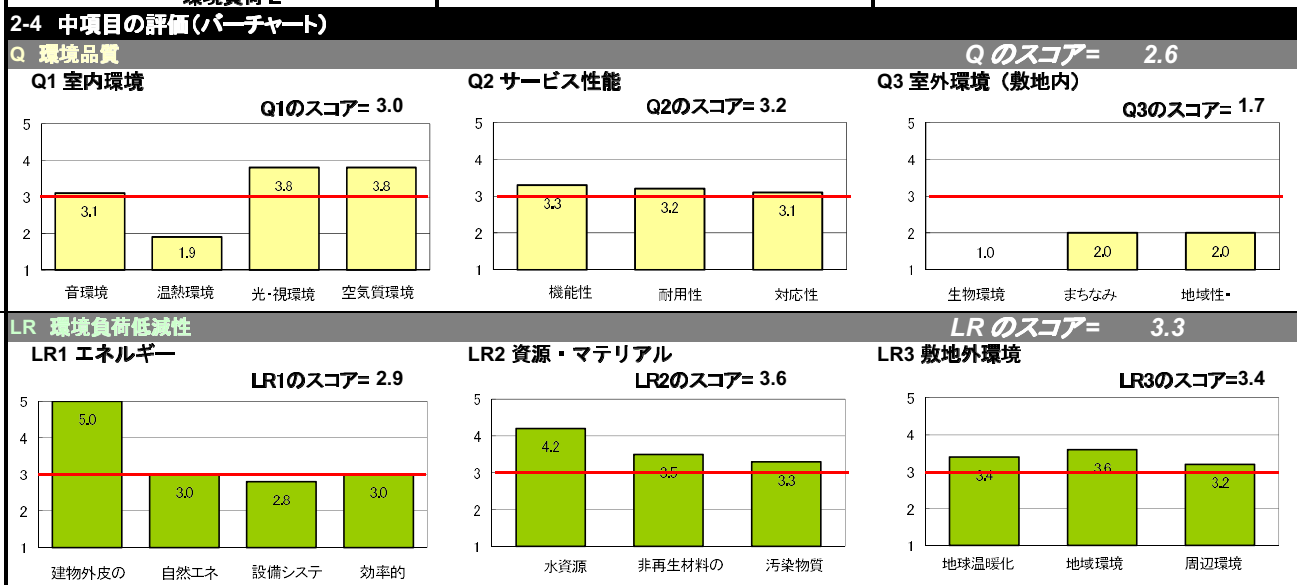
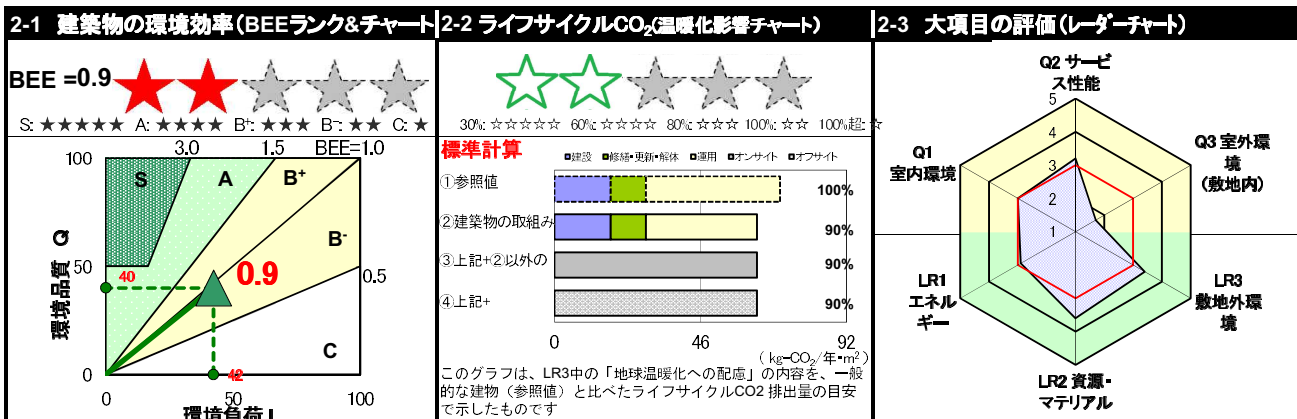


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ORC大坪水産株式会社新工場 建設	階数	地上2F
建設地	静岡県焼津市利右衛門391-1	構造	S造
用途地域	用途地域指定無し、防火・準防火地域	平均居住人員	180 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,912 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年5月9日
敷地面積	14,756 m ²	作成者	増田吉則
建築面積	2,472 m ²	確認日	
延床面積	3,057 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡 (2016年版) による評価結果である。 ・建築物の環境品質については、快適で維持管理のしやすい執務空間とすることで環境品質が向上するよう努めている。 ・建築物の環境負荷については、高性能な外皮や設備システムを採用して環境負荷の低減に取り組んでいる。		その他 特になし。
Q1 室内環境 全館を禁煙とし内装材には化学汚染物質の少ない材料を使用している。 また事務所空間は遮音性能、採光及び自然換気性能などに優れており、建築物全体で室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 仕上材や設備配管は耐久性のあるものを採用しており、情報通信設備も高度なものを有しているなど、機能的で耐用性に優れた空間となっている。	Q3 室外環境 (敷地内) 植樹帯を積極的に設け、建築物の形態や色彩などに配慮するなど景観向上に努めている。
LR1 エネルギー 外皮の熱性能の向上に努め、LED照明など高効率な設備機器を採用してエネルギー消費の削減を図っている。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材や有害物質を含まない材料の使用に努めるなどして環境への悪影響の低減を図っている。	LR3 敷地外環境 大気汚染防止に努め、駐車場及び廃棄物対策について計画的に対応しているなど環境負荷の低減に取り組んでいる。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される